

令和3年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	・自立と社会参加をめざし、一貫性・系統性のある「秦野らしい」教育課程の整備とそのしくみの確立、及び専門性維持向上のための取組を進める。	①地域の特色や学校の強みを活かした多様な教育活動を展開する。 ②個別教育計画を活用した、組織的な授業改善を一層進める。	①地域等との関わりを授業に組み込むための工夫をし、開拓と発信を行う。 ②研究・研修との連動性を図りながら個別教育計画を活用した授業改善を進める。	①児童生徒が地域の方々と関わったり、貢献したりする機会が増えたか。 ②個別教育計画の活用をとおして、児童生徒の変容が見られたか。					
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	・児童生徒の個性を尊重し、多様な教育的ニーズに配慮しながら、「自己実現」と「共生」をめざした指導・支援を組織的に行う。	①部門課程と校内多職種等との連携協働のしくみの活性化を図る。 ②児童生徒支援のための研修等を実施し、効果的な指導・支援につなげる。	①日常的な連携を通してチームで支援できるシステムを作る。 ②研修の短時間化、ICTの活用により、効果的な研修を実施する。	①チームで連携し、支援できる機会が増えたか。 ②児童生徒支援への理解を深め、効果的な指導・支援につながったか。					
3 進路指導・支援	・児童生徒一人ひとりの「夢の実現」や主体的な進路選択に向けて、障害特性や発達段階に応じた指導・支援を、保護者や関係機関との連携の下で進める。	①全部門課程において、個別教育計画を踏まえた進路指導・支援のしくみを確立させる。 ②保護者や地域の学校等への情報発信を一層積極的に行い、進路情報の浸透を図る。	①校内各部署間・部署内の情報共有及び連携協働体制の確立と役割の明確化を図る。 ②保護者や地域の学校等のニーズを踏まえ、関係機関等と連携した情報発信を進める。	①校内で十分に連携し、本人や保護者の夢や希望を踏まえた進路指導・支援を実施できたか。 ②保護者や地域の学校等に十分な進路情報の浸透が図れたか。					
4 地域等との協働	・他者を尊重し、多様性を認め合う共生社会の実現に向けて、支援教育及びインクルーシブ教育を「地域とともに」推進する。	①地域の学校との交流及び共同学習を通常の学習場面として定着させるための取組を進める。 ②病弱教育部門の移行支援システムを整備する。	①交流及び共同学習が計画的に実施できるように、準備・検討を行う。 ②病弱教育の理解啓発を図り、転出元/先校や市町村教育委員会等との連携を強化する。	①現在の取組を継続・発展できたか。また新規実施への足がかりを築けたか。 ②移行支援システムに、理解啓発や連携強化のための方策が盛り込まれ、関係機関等と共有できたか。					
5 学校管理 学校運営	・保護者、地域、関係機関等から「信頼される学校」をめざし、児童生徒が安全に安心して過ごせる教育環境を整備する。	①児童生徒の安全・安心な学校生活に向けた取組を継続する。 ②全職員一人ひとりが主体となり、校務の効率化を組織的に進める。	①児童生徒情報の共有や、マニュアル・訓練等の継続的な見直しを行う。 ②個人(業務の進め方)と全体(代替・縮小・継続等)の2観点から業務の効率化を図る。	①情報共有やマニュアル・訓練等の見直しにより、事故の未然防止や安心な学校生活につながられたか。 ②校内全部署が業務見直しに関わり、児童生徒と向き合う時間や授業準備の時間を生み出せたか。					